

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	ロボットビジネス概論		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>ロボット業界は先端的な分野であるとともに、草創の機運にあふれた分野である。そこで将来事業や新規企画を立ち上げることは十分考えられる。そのためにも企業の構造や経営戦略の立て方、原価と収益構造の理解、マーケティング手法を理解し身につける必要がある。本講座ではこの事業や経営に関する基礎的知識を学ぶ。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>課題の提出・内容・発表の仕方70% 出席点20% 平常点10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
特になし						
《授業外における学習方法》						
課題作成及び課題に沿った情報収集による学習						
《履修に当たっての留意点》						
世の中や原価のこと、企画立案の手法は卒業制作やロボットプロジェクトでも有用である。単なる一授業ではなく他の授業に展開することを意識して欲しい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ベンチャー企業や新製品企画の事例を見て、事業企画・製品企画についてイメージできる	-	講義内容を振り返り、復習ノートを作成、提出する。	
	各コマにおける授業予定		企業の準備、マーケティングの事例紹介			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	企業(会社)の運営形態や会社組織の成り立ちについて説明できる	-	講義内容を振り返り、復習ノートを作成、提出する。	
	各コマにおける授業予定		企業の種類と構造、組織の違いについて			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	リーダーシップの在り方について学び、各自にあったリーダーシップを発揮できる	-	講義内容を振り返り、復習ノートを作成、提出する。	
	各コマにおける授業予定		リーダーシップのタイプ、フォロワーシップのタイプ スタッフへ共鳴させ方の違い			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	経営戦略がどのようなもので、どのように組み立てるべきかに付いて学習する	-	講義内容を振り返り、復習ノートを作成、提出する。	
	各コマにおける授業予定		会社の理念、経営戦略、事業戦略の違いと立て方について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	経営戦略がどのようなもので、どのように組み立てるべきかに付いて学習する	-	SWOT分析による自己分析を行う	
	各コマにおける授業予定		経営戦略立案に必要なもの。 情報の分析手法について SWOT・PEST・3Cなど			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	新規企画や事業企画のアイデアを立案するためのマーケティング手法について学習する。	-	興味のある分野において市場調査・情報収集を行う
		各コマにおける授業予定	ニーズとシーズの違い 市場調査の重要性と課題		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	新規企画や事業企画のアイデアを立案するためのマーケティング手法について学習する。	ワークシート 付箋	興味のある分野において市場調査・情報収集を行う
		各コマにおける授業予定	市場調査の手法(インターネット・店舗観察) ニーズの抽出		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	新規企画や事業企画のアイデアを立案するためのマーケティング手法について学習する。	ワークシート 付箋	ブラッシュアップのための情報収集を行う
		各コマにおける授業予定	アイデア立案手法 ブレインストーミング・KJ法		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	共通課題に対し学んだ手法を用いた企画立案が出来る。	ワークシート 付箋	ブラッシュアップのための情報収集を行う
		各コマにおける授業予定	共通課題でKJ法を用いたアイデアラッシュとブラッシュアップ演習		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	共通課題に対し学んだ手法を用いた企画立案が出来る。	ワークシート 付箋	ブラッシュアップのための情報収集を行う
		各コマにおける授業予定	共通課題でKJ法を用いたアイデアラッシュとブラッシュアップ演習		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	共通課題に対し学んだ手法を用いた企画立案が出来る。	ワークシート 付箋	ブラッシュアップのための情報収集を行う
		各コマにおける授業予定	共通課題でKJ法を用いたアイデアラッシュとブラッシュアップ演習		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	個別に企画立案することで、学生各自が学んだ技術の定着を図り、自由に発想して新規企画を立案できる。	ワークシート 付箋	情報収集・ブレインストーミング・KJ法による企画案の作成を行う
		各コマにおける授業予定	各自課題による製品企画化と発表及びディスカッション		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	個別に企画立案することで、学生各自が学んだ技術の定着を図り、自由に発想して新規企画を立案できる。	ワークシート 付箋	情報収集・ブレインストーミング・KJ法による企画案の作成を行う
		各コマにおける授業予定	各自課題による製品企画化と発表及びディスカッション		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	個別に企画立案することで、学生各自が学んだ技術の定着を図り、自由に発想して新規企画を立案できる。	ワークシート 付箋	情報収集・ブレインストーミング・KJ法による企画案の作成を行う
		各コマにおける授業予定	各自課題による製品企画化と発表及びディスカッション		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションを通して、企画立案の評価点を学習し、経営的観点から企画を評価できる	ワークシート 付箋	プレゼンテーション用資料のまとめと準備を行う
		各コマにおける授業予定	提案企画のコンペティションとキャンパスベンチャーグランプリ準備		